

## 平成30年度 蕨市市民参画と協働の実施状況(案)

分野	項目	根拠条項	H29実施状況	H30実施状況	指標	※参考:将来ビジョン			市の考え		
						H29	H30	将来ビジョン目標値(H30)		達成状況	将来ビジョン目標値(H35)
市民参画	審議会等による審議	第7条第1項第1号	審議会等:74(職員のみで構成する審議会等を除く) ・開催した審議会等:47 (公開:31(計60回開催)、非公開又は一部非公開:16) ・開催した審議会等の傍聴人数合計:43人  ※平成29年度の審議会等の数は75としておりましたが、改めて見直した結果、市の内規に基づく内部会議が含まれておりましたので、74に訂正いたします	審議会等:74(職員のみで構成する審議会等を除く) ・開催した審議会等:47 (公開:31(計60回開催)、非公開又は一部非公開:16) ・開催した審議会等の傍聴人数合計:42人	公開した審議会等1回あたりの傍聴人数	0.72人	0.7人	-	-	-	市ホームページなどで、審議会等の開催を周知しているが、傍聴人は依然として少ない。 引き続き、周知の方法を工夫するとともに、会議の開催日時についても検討する。
	審議会等の公開と委員の選任	第8条	公募委員を含めるものとする審議会等:14 うち公募委員が含まれる審議会等:14	公募委員を含めるものとする審議会等:15 うち公募委員が含まれる審議会等:15	審議会等の公募委員の割合	20.4%	21.2%	20%	○	20%	対象となる全ての審議会等で公募枠を設け、公募委員の割合は「審議会等の委員の公募に関する要綱」で規定する20%以上を維持している。今後も、新規の審議会等を立ち上げる場合や委員の任命替えを行う場合に公募枠の確保を呼びかけていく。
	パブリック・コメント	第7条第1項第2号	(1)第2次蕨市立病院経営改革プラン 改訂版(追加分)【0件】 (2)蕨市庁舎耐震化整備基本方針【5件】 (3)蕨市個人情報保護条例・蕨市情報公開条例【0件】 (4)第7期蕨市高齢者福祉計画・介護保険事業計画【2件】 (5)第5期蕨市障害福祉計画・第1期蕨市障害児福祉計画【23件】 (6)蕨市いじめ防止基本方針(改定案)【0件】 (7)消防署塚越分署建替基本計画【0件】 (8)「わらび健康アップ計画」【1件】 (9)蕨市国民健康保険 第1期データヘルス計画、蕨市国民健康保険 第3期特定健康診査等実施計画【0件】 (10)蕨市水道ビジョン(後期計画)【0件】 (11)第3次蕨市情報化総合推進計画<改訂版>【0件】	(1)「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン後期実現計画【3件】 (2)蕨駅西口地区市街地再開発事業の公共公益施設の方針【26件】 (3)蕨市自殺対策計画【2件】 (4)蕨市重度心身障害者医療費の助成に関する条例【5件】 (5)蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画【6件】 (6)蕨市立病院将来構想【0件】 (7)蕨市男女共同参画パートナーシッププラン(第2次)後期計画【8件】	パブリック・コメント1回あたりの意見数	2.82件	7.14件	3件	○	4件	市民の関心が高い案件が多かったこともあり、パブリック・コメント1件あたりの意見数は過去5年間で最多となった。しかし、意見数が0件の案件もあるため、引き続き、パブリック・コメントの目的や実施を広く市民等に周知していくとともに、各案件の意見募集の際には、募集期間の確保や周知方法の工夫に努めていく。
	意向調査	第7条第1項第3号	(1)蕨福祉に関するアンケート調査【回答率43.0%】 (2)「わらび健康アップ計画」に関するアンケート調査【回答率36.0%】 (3)蕨市役所庁舎耐震化整備方法に関する市民アンケート【回答率45.1%】 (4)市民意識調査【回答率43.1%】	(1)蕨市市民意識調査【回答率50.5%】 (2)蕨市新庁舎建設に関する市民アンケート【回答率48.1%】 (3)第2期蕨市子ども・子育て支援事業計画利用希望把握調査【①就学前児童調査 ②留守家庭児童調査】 【回答率45.2%】	市民意識調査の回答率	43.1%	50.5%	45%	○	45%	・市民意識調査について、設問の見直しやお礼状兼協力依頼の送付などによる工夫の結果、平成7年度以降でもっとも高い回答率となった。引き続き、回答率向上に向けた取り組みを行っていく。 ・意向調査については、引き続き、計画の策定など、意向調査が効果的と思われる場合の実施を促す。
	意見交換会	第7条第1項第4号	市内5地区で市長タウンミーティングを開催し、市長との質疑応答(意見交換)を行った【518人参加】	市内5地区で市長タウンミーティングを開催し、市長との質疑応答(意見交換)を行った【526人参加】	市長タウンミーティングの参加者	518人	526人	500人	○	現状値(H29)以上	・市長タウンミーティングの参加者は増加傾向にあり、市民参画の機会として、今後も多くの市民に参加を促す。 ・その他の意見交換会は開催実績がなかったが、引き続き庁内への周知に努め、実施を促す。
	ワークショップ	第7条第1項第5号	実施なし	実施なし	ワークショップの開催回数・人数	-	-	-	-	-	平成30年度は開催実績がなかったが、引き続き庁内への周知に努め、実施を促す。 ※令和元年度は蕨駅西口新図書館ワークショップを開催

## 平成30年度 蕨市市民参画と協働の実施状況(案)

分野	項目	根拠条項	H29実施状況	H30実施状況	指標	※参考:将来ビジョン			市の考え		
						H29	H30	将来ビジョン目標値(H30)		達成状況	将来ビジョン目標値(H35)
協働	協働の環境づくり	第10条	<p>1.蕨市協働推進月間(毎年8月)にあわせて懸垂幕を庁舎に掲出するとともに、わらびネットワークステーション情報紙に「シンボルマーク」と「キャッチフレーズ」を活用し、周知に努めた。</p> <p>2.係長級以下の職員と市民が合同で協働のまちづくり研修を実施し、協働意識の向上に努めた。</p> <p>3.わらびネットワークステーションにおいて、市民活動の支援となる以下の事業を実施した。</p> <p>(1)市民活動に関する各種情報の収集及び提供事業 ア.活動団体情報のファイル閲覧 イ.ホームページの充実 ウ.情報紙の発行【<b>年4回</b>】</p> <p>(2)市民活動等に関する相談事業【<b>824件</b>】</p> <p>(3)わらび市民活動人材ネットつながるバンク【<b>登録81件、マッチング39件</b>】 ア.「スキルアップ講座」開催による資質向上 イ.「ちょこっとセミナー」(5講座)による周知</p> <p>(4)市民活動団体等の交流及び連携事業 ア.つながるバンク「スキルアップ研修会」【3.(5)イ(ウ)参照】 イ.ぶち交流会【<b>4回開催</b>】</p> <p>(5)NPO法人等市民活動団体及びボランティア等の育成事業 ア.ぶち交流会【<b>3回開催</b>】 イ.アクティブシニアの社会参加支援事業 ア.「ボランティア・市民活動見本市」【<b>500人参加</b>】 イ.「ボランティア・市民活動(体験会)」【<b>37団体で企画、19団体で実施、41名参加</b>】 ウ.「スキルアップ講座」 a.「男の学び舎「笑楽日塾」【<b>35人参加</b>】 b.「人が100倍集まる!!チラシの作り方」【<b>65人参加</b>】</p> <p>(エ)「コミュニティカフェの調査・研究」 a.ぶち交流会【3.(5)ア再掲】 b.「40代からの男の厨房 だれでもカフェ講座」【<b>全7回開催15名参加</b>】</p> <p>4.市民活動の支援として市立病院ギャラリーやコミュニティバス等で市民活動団体等を紹介する展示を実施した。</p> <p>※昨年度資料との変更点 指標登録団体数246件は集計誤りのため、248件が正しい値です。 3.-(2)相談数115件は集計方法の変更に伴い、824件となります。 3.-(3)登録90件は集計誤りのため、81件が正しい値です。 3.-(4)-イ、3.-(5)-アの各7回開催は重複があったためそれぞれの開催回数に改めました。 3.-(5)-イ-(ウ)-a、3.-(5)-イ-(エ)-bは年度比較のため人数を追記しました。</p>	<p>1.蕨市協働推進月間(毎年8月)にあわせて懸垂幕を庁舎に掲出するとともに、わらびネットワークステーション情報紙に「シンボルマーク」と「キャッチフレーズ」を活用し、周知に努めた。</p> <p>2.係長、専門員及び主査級の職員と市民が合同で協働のまちづくり研修を実施し、協働意識の向上に努めた。</p> <p>3.わらびネットワークステーションにおいて、市民活動の支援となる以下の事業を実施した。</p> <p>(1)市民活動に関する各種情報の収集及び提供事業 ア.活動団体情報のファイル閲覧 イ.ホームページの充実 ウ.情報紙の発行【<b>年4回</b>】</p> <p>(2)市民活動等に関する相談事業【<b>379件</b>】</p> <p>(3)わらび市民活動人材ネットつながるバンク【<b>登録78件、マッチング36件</b>】 ア.「スキルアップ講座」開催による資質向上 イ.「ちょこっとセミナー」(4講座)による周知</p> <p>(4)市民活動団体等の交流及び連携事業 ア.つながるバンク「スキルアップ講座」【3.(5)ア(ウ)参照】</p> <p>(5)NPO法人等市民活動団体及びボランティア等育成事業 ア.アクティブシニアの社会参加支援事業 ア.「ボランティア・市民活動見本市」【<b>500人参加</b>】 イ.「ボランティア・市民活動体験会」【<b>42団体で企画、26団体で実施、58名参加</b>】 ウ.「スキルアップ講座」 a.「簡単！ホームページ作成講座 ～あなたの団体をインターネットでもPR！～」【<b>15人参加</b>】</p> <p>(エ)「コミュニティカフェの調査・研究」 a.「居場所づくりのあいうえお」【<b>29人参加</b>】 b.「居場所づくりのかきくけこ」【<b>19人参加</b>】</p> <p>4.市民活動の支援として市立病院ギャラリーやコミュニティバス等で市民活動団体等を紹介する展示を実施した。</p>	わらびネットワークステーションの登録団体数	248 団体	<b>252 団体</b>	250 団体	○	260 団体	<p>・わらびネットワークステーションの登録団体数は微増傾向にあるものの、利用者数は減少となった。今後も、協働の拠点として、施設の周知と機能強化に努めていく。</p> <p>・つながるバンク及び登録団体の活性化につながるよう、可能な支援を行いつつ、さらなる周知、マッチングに努めていく。</p> <p>・平成28年度から3か年、県委託事業であるアクティブシニアの社会参加支援事業を受託し、元気なシニア世代の市民活動・ボランティア活動への参加を支援する活動に積極的に取り組んできた。今後は3か年の実績・経験を生かしながら、シニアに限らない様々な取り組みに繋げていく。</p>
					わらびネットワークステーションの利用者数合計	1,776人	<b>1,135人</b>	1,700人 (累計)	○	2,000人	

## 平成30年度 蕨市市民参画と協働の実施状況(案)

分野	項目	根拠条項	H29実施状況	H30実施状況	指標	※参考:将来ビジョン			市の考え		
						H29	H30	将来ビジョン目標値(H30)		達成状況	将来ビジョン目標値(H35)
	協働事業提案制度	第11条	平成30年度(平成29年8月に募集)自由テーマ4件の提案があり、以下1件の事業が採択となった 1. 団体名:蕨防災士会 事業名:わらび防災大学校(3年目)	平成31年度(平成30年11~12月に募集)指定テーマ3件、自由テーマ5件の提案があり、以下8件の事業が採択となった 1. 団体名:笑楽日塾(わらびじゅく) 事業名:蕨歴史ヒストリア「市民が語る蕨の歴史」 (指定テーマ:みんなで祝う市制施行60周年) 2. 団体名:蕨マルシェ実行委員会 事業名:蕨マルシェ 3. 団体名:蕨市「彩の花」 事業名:市制施行60周年記念式典をお祝いする活花の展示 (指定テーマ:みんなで祝う市制施行60周年) 4. 団体名:外遊びを考える会「どろんこの王様」 事業名:コミュニティのまち蕨から考えよう 子どもの育ちが危うい!~遊びこそ学び~ (指定テーマ:みんなで祝う市制施行60周年) 5. 団体名:点字サークル「あじさい」 事業名:ボランティア・ガイドヘルプ(同行援護)基礎講座 6. 団体名:特定非営利活動法人花なかま 事業名:花や緑に親しみ育てる機会をとおして、 児童のころ優しく豊かな人格形成に寄与する事業 7. 団体名:特定非営利活動法人セカンドリーグ埼玉 事業名:ミニバレーを通じて健康と社交の場づくり 8. 団体名:蕨市男女平等推進市民会議 事業名:男女共同参画の視点で考える防災研修	蕨市協働事業提案制度への応募件数	26件 (累計)	34件 (累計)	25件 (累計)	○	50件 (累計)	平成30年度に制度の見直しを図ったが、今後も積極的に周知を行い、応募団体の増加につなげていく。また、市職員にも協働事業提案制度を積極的に周知するとともに、市民活動団体の提案については、発案から実施に至るまで丁寧にサポートしていく。
	市民への支援	第12条	(1)安全安心きれいなまちづくりポイント事業奨励費【13,333枚のくらしの商品券を地域貢献活動参加者に配布】、公園・歩道緑地帯自主管理団体助成金など、市民との協働に係る取り組みに対して、財政的な支援を行った。 (2)蕨市ふるさとわらび応援基金条例に基づいて、ふるさと納税(ふるさと応援寄付)を受け入れ、6つの用途に対して基金を積み立てた。	(1)公園・歩道緑地帯自主管理団体助成金、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金など、市民との協働に係る取り組みに対して、財政的な支援を行った。 (2)蕨市ふるさとわらび応援基金条例に基づいて、ふるさと納税(ふるさと応援寄付)を受け入れ、6つの用途に対して基金を積み立てた。	ふるさとわらび応援基金の寄附件数	428件	268件	-	-	-	平成29年度で安全安心きれいなまちづくりポイント事業奨励費を終了し、平成30年度から飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金を開始した。今後も、市民との協働の取り組みについては、対象事業の効果を見定めながら、必要な財政的支援を検討していく。